

＜2024年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名		生物学		学年	1
		単位数	2	コマ数	15
授業概要、到達目標					
「生物学」は生物を理解する学問であり、理解の対象は生物である。生理学（国家試験科目）を学習する上で、その基礎となる生物学の理解を目標とする。					
講 義 内 容	1	細胞			
	2	血液			
	3	循環			
	4	呼吸			
	5	栄養			
	6	消化			
	7	吸収			
	8	まとめと確認テスト			
	9	体温			
	10	骨			
	11	排泄			
	12	内分泌			
	13	内分泌			
	14	まとめ			
	15	試験			
		終講時試験			
評価方法		小テスト・筆記試験			
評価基準	新 G P A （ 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。			
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。			
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。			
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考					

＜2024年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名		栄養学Ⅰ		学年	1
		単位数	2	コマ数	15
授業概要、到達目標					
一般の方から選手まで、日常からスポーツ現場まで、多くの現場で役立てられる栄養摂取の知識と重要性を身につける。					
講義内容	1	健康と栄養 五大栄養素の役割			
	2	日常生活と栄養			
	3	日常生活と栄養			
	4	栄養指導・保健指導 各疾患に対しての運動指導			
	5	食物と栄養 栄養素とその働き			
	6	食物と栄養 食物の摂取と消化・吸収			
	7	ライフステージと健康教育			
	8	運動と栄養 身体組成とエネルギー代謝、スポーツ栄養マネジメント			
	9	スポーツ選手の競技力向上と栄養 種目別特定の分類と食事			
	10	スポーツ選手の競技力向上と栄養 競技力向上のための食事			
	11	スポーツ選手の競技力向上と栄養 水分補給m食事管理、栄養サポート			
	12	健康増進と栄養 健康日本21 日本人の食事摂取基準			
	13	健康増進と栄養 食事バランス			
	14	健康増進と栄養 食育について			
	15	まとめ			
	終講時試験				
評価方法		筆記試験による評価			
評価基準	新GPA（評価）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。			
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。			
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。			
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考					

＜2024年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名		トレーナー概論		学年	1
		単位数	2	コマ数	15
授業概要、到達目標					
スポーツ業界でも活躍するために必要なスキルや知識・技術を習得する。また、解剖学・生理学・運動学の復習も行うことにより、習得した知識を再確認する。					
講 義 内 容	1	運動指導の科学			
	2	指導とは～スポーツ選手への指導・指導者の役割～			
	3	指導とは～スポーツ選手への指導・指導者の役割～			
	4	トレーニング法の理論とプログラム①「トレーニング計画の立案			
	5	トレーニング法の理論とプログラム②「筋力トレーニングのプログラム作成」			
	6	トレーニング法の理論とプログラム③「パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成」			
	7	トレーニング法の理論とプログラム④「有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成」			
	8	トレーニング法の理論とプログラム⑤「スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成」			
	9	トレーニング法の理論とプログラム⑥「ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの理論とプログラム作成」			
	10	トレーニング法の理論とプログラム⑦「特別な対象のためのトレーニングとプログラム」			
	11	トレーニング法の理論とプログラム⑧「傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム」			
	12	トレーニング法の理論とプログラム⑨まとめ			
	13	トレーニング法の実際①筋力トレーニングの実際			
	14	トレーニング法の実際②パワー向上トレーニングの実際			
	15	トレーニング法の実際③有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの実際			
	終講時試験				
評価方法		筆記試験による評価			
評 価 基 準	新 G P A （ 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。			
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。			
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。			
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考					

＜2024年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名		心理学		学年	1
		単位数	2	コマ数	15
授業概要、到達目標					
患者だけではなく、広く人間について知ることは医療従事者にとって重要である。心理学的な視点から人間を理解することで、自分の身の回りで起きている現象についての理解を深め、心理学的な思考を出来るようにすることが目標である。					
講 義 内 容	1	自己紹介／心理学の歴史			
	2	心理学の歴史／血液型と心理学			
	3	知覚・記憶			
	4	欲求・感情			
	5	発達			
	6	自己～自己開示			
	7	集団行動～社会的促進・同調・服従			
	8	集団意志決定			
	9	援助行動			
	10	コミュニケーション・スキル①			
	11	コミュニケーション・スキル②／恋愛関係①			
	12	コミュニケーション・スキル②／恋愛関係②			
	13	スポーツ心理学①運動と心理に関する基礎理論			
	14	スポーツ心理学②スポーツ選手の競技力向上への活用			
	15	スポーツ心理学③一般人の健康増進への活用			
	終講時試験				
評価方法		小テスト・筆記試験			
評価基準	新 G P A （ 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。			
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。			
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。			
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考					

＜2024年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	英語			学年	2
		単位数	2	コマ数	15
授業概要、到達目標					
日常会話の習得に力点をおき、外国人に対応できる人材を育成する。					
講 義 内 容	1	Chapter 1 受付			
	2	Chapter 2 病院案内			
	3	Chapter 3 症状(1)痛み			
	4	Chapter 4 症状(2)その他			
	5	Chapter 5 問診(1)既往歴・家族歴			
	6	Chapter 6 問診(2)アレルギー・生活習慣			
	7	Chapter 7 内科(1)身体計測・診察時の表現			
	8	Chapter 8 内科(2)バイタルサインの測定			
	9	Chapter 9 外科			
	10	Chapter 10 検査と処置			
	11	Chapter 11 救急患者			
	12	Chapter 12 整形外科・整骨院(接骨院)			
	13	Chapter 13 リハビリテーション(1)			
	14	Chapter 14 リハビリテーション(2)			
	15	Chapter 15 鍼灸院での治療			
		終講時試験(Writing)			

評価方法		筆記試験		
評価基準	新GPA評価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		

＜2024年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名		解剖学 I		学年	1
		単位数	8	コマ数	60
授業概要、到達目標					
人体の構造と主たる機能について系統別に学ぶ。					
講 義 内 容	1	第1章人体の構成・1細胞			
	2	第1章人体の構成・2組織			
	3	第1章人体の構成・2組織			
	4	第1章人体の構成・3体表構造・4人体の区分と方向			
	5	第10章 運動器系・Ⅰ総論 1 骨格系			
	6	第10章 運動器系・Ⅰ総論 2筋系			
	7	第10章 運動器系・Ⅱ全身の骨格 骨の名称			
	8	第10章 運動器系・Ⅱ全身の骨格 1脊柱			
	9	第10章 運動器系・Ⅱ全身の骨格 1脊柱			
	10	第10章 運動器系・Ⅱ全身の骨格 2胸郭 3上肢の骨格			
	11	第10章 運動器系・Ⅱ全身の骨格 2胸郭 3上肢の骨格			
	12	第10章 運動器系・Ⅱ全身の骨格 2胸郭 3上肢の骨格			
	13	第10章 運動器系・Ⅳ上肢 1 上肢の筋			
	14	第10章 運動器系・Ⅳ上肢 1 上肢の筋			
	15	第10章 運動器系・Ⅳ上肢 1 上肢の筋			
		終講時試験			
	16	第10章 運動器系・Ⅱ全身の骨格 4下肢の骨格			
	17	第10章 運動器系・Ⅱ全身の骨格 4下肢の骨格			
	18	第10章 運動器系・Ⅴ下肢 1下肢の筋			
	19	第10章 運動器系・Ⅴ下肢 1下肢の筋			
	20	第10章 運動器系・Ⅴ下肢 2下肢の運動			
	21	第10章 運動器系・Ⅴ下肢 2下肢の運動			
	22	第10章 運動器系・Ⅱ全身の骨格 5 頭蓋骨			
	23	第10章 運動器系・Ⅱ全身の骨格 5 頭蓋骨			
	24	第10章 運動器系・Ⅵ頭頸部 1頭頸部の筋			
	25	第10章 運動器系・Ⅵ頭頸部 1頭頸部の筋 2頭頸部の局所解剖			
	26	第10章 運動器系・Ⅲ体幹 1 体幹の筋			
	27	第10章 運動器系・Ⅲ体幹 1 体幹の筋 2体幹の運動			
	28	第10章 運動器系・Ⅲ体幹 2体幹の運動 3体幹の局所解剖			
	29	まとめ			
	30	まとめ			
		終講時試験			
	31	第4章 消化器系			
	32	第4章 消化器系			
	33	第4章 消化器系			
	34	第3章 呼吸器系			

講 義 内 容	35	第3章 呼吸器系
	36	第5章 泌尿器系
	37	第5章 泌尿器系
	38	第6章 生殖器系
	39	第6章 生殖器系
	40	第6章 生殖器系
	41	第7章 内分泌系
	42	第7章 内分泌系
	43	第9章 感覚器系
	44	第9章 感覚器系
	45	まとめ
		終講時試験
	46	第8章 神経系
	47	第8章 神経系
	48	第8章 神経系
	49	第8章 神経系
	50	第8章 神経系
	51	第8章 神経系
	52	第8章 神経系
	53	第8章 神経系
	54	第2章 循環器系
	55	第2章 循環器系
	56	第2章 循環器系
	57	第2章 循環器系
	58	第2章 循環器系
	59	第2章 循環器系
	60	第2章 循環器系
		終講時試験

評価方法		筆記試験による評価	
評価基準	新 G P A （ 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
		備考	

＜2024年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名		生理学 I		学年	1
		単位数	8	コマ数	60
授業概要、到達目標					
人体機能の物理的・化学的な仕組みを学習し、生体の全機性や生体保持について総論的に学習する。					
講 義 内 容	1	生理学の基礎Ⅰ-1.生理学の特徴（生命現象・生体の恒常性・個体の成り立ち）			
	2	生理学の基礎Ⅱ-2.細胞の構造と機能（細胞膜・細胞質・ゴルジ装置・ミトコンドリアなど）			
	3	生理学の基礎Ⅲ-3.物質代謝の仕組み、4.体液の組成と働き、5.物質の移動			
	4	血液Ⅰ-1.血液の組成と働き（赤血球・白血球・血小板・血漿）			
	5	血液Ⅱ-2.血液凝固の仕組み（血液凝固系・線維素溶解系）			
	6	血液Ⅲ-3.血液型（ABO式血液型・Rh式血液型・血液不適合輸血）			
	7	生理学の基礎及び血液のまとめと小テスト			
	8	神経Ⅰ-1.神経系のあらまし、2.ニューロンの構造と働き			
	9	神経Ⅱ-3.神経線維の興奮と伝導①（静止電位・活動電位）			
	10	神経Ⅲ-3.神経線維の興奮と伝導②（興奮の伝導）			
	11	神経Ⅳ-4.興奮の伝達（シナプス・神経伝達物質・受容体）			
	12	神経Ⅴ-5.末梢神経系（末梢神経系の分類と機能）			
	13	神経Ⅵ-6.中枢神経系①（分類と機能の概要・脊髄・脳幹・間脳）			
	14	神経Ⅶ-6.中枢神経系②（小脳・大脳基底核・大脳・脳波・脳脊髄液）			
	15	神経系のまとめと小テスト			
		中間試験 中間試験問題の解説			
	16	自律神経性調節Ⅰ-1.自律神経系の特徴（交感神経・副交感神経・内臓求心性神経など）			
	17	自律神経性調節Ⅱ-2.自律神経系の神経伝達物質と受容体			
	18	自律神経性調節Ⅲ-3.自律神経系の中樞、4.自律神経反射			
	19	自律神経系のまとめと小テスト			
	20	筋Ⅰ-1.骨格筋の構造と働き（骨格筋の作用・筋線維と筋原線維・筋の微細構造）			
	21	筋Ⅱ-2.筋収縮の仕組み（興奮収縮連関・等張性及び等尺性収縮・単収縮と強縮）			
	22	筋Ⅲ-3.筋のエネルギー供給の仕組み（筋収縮のエネルギー代謝・筋の熱産生）			
	23	筋Ⅳ-4.心筋と平滑筋の構造と働き			
	24	筋のまとめと小テスト			
	25	運動Ⅰ-1.骨格筋の神経支配①（運動単位・ α 及び γ 運動ニューロン・筋紡錘・腱受容器）			
	26	運動Ⅱ-1.骨格筋の神経支配②（ α - γ 連関・神経筋接合部・筋トーンス）			
	27	運動Ⅲ-2.運動の調節①（脊髄による調節・伸張反射・屈曲反射・長脊髓反射）			
	28	運動Ⅳ-2.運動の調節②（脳幹、小脳及び大脳基底核による調節）			
	29	運動Ⅴ-2.運動の調節③（大脳皮質による調節・発生と言語・歩行運動・呼吸運動）			
	30	運動のまとめと小テスト			
		終講時試験			
	31	感覚Ⅰ-1.感覚の一般（感覚とその分類・感覚の一般的な性質・受容器と興奮伝達）			
	32	感覚Ⅱ-2.体性感覚（皮膚感覚・深部感覚）			
	33	感覚Ⅲ-3.内臓感覚、4.痛覚（痛みの分類・内因性発痛物質・痛みの抑制系など）			
	34	感覚Ⅳ-5.特殊感覚①（味覚・嗅覚・聴覚・平衡感覚）			
	35	感覚Ⅴ-5.特殊感覚②（視覚）			
	36	感覚のまとめと小テスト			
	37	循環Ⅰ-1.心臓血管系（体循環と肺循環・動脈と静脈）			

講 義 内 容	38	循環Ⅱ-2.心臓（心臓の構造と機能・心筋の基本的性質・心機能の調節など）
	39	循環Ⅲ-3.血管系の構造と機能（血管の構造・毛細血管の循環・血管の神経支配など）
	40	循環Ⅳ-4.血圧、5.循環の調節
	41	循環Ⅴ-6.特殊な部位の循環、7.リンパ系
	42	循環のまとめと小テスト
	43	呼吸Ⅰ-1.呼吸器系の構造と機能、2.呼吸運動、3.肺機能
	44	呼吸Ⅱ-4.ガス交換とガスの運搬、5.呼吸運動の調節
	45	呼吸のまとめと小テスト
		中間試験 中間試験問題の解説
	46	消化と吸収Ⅰ-1.消化管の構造と機能、2.口腔内の消化、3.胃内の消化
	47	消化と吸収Ⅱ-4.小腸内の消化と吸収、5.大腸内の消化と吸収、6.直腸、肛門と排便
	48	消化と吸収Ⅲ-7.消化管ホルモン、8.肝臓の働き
	49	消化・吸収のまとめと小テスト
	50	体温調節Ⅰ-1.体温の部位差と変動、2.体熱の産生と放散の仕組み
	51	体温調節Ⅱ-3.体温調節の仕組み（寒冷暴露、暑熱環境での体温調節・体温調節障害）
	52	排泄Ⅰ-1.腎臓の構造と働き、2.尿の組成
	53	排泄Ⅱ-3.腎臓における体液調節、4.蓄尿と排尿
	54	体温調節及び排泄のまとめと小テスト
	55	内分泌Ⅰ-1.ホルモンの一般的特徴
	56	内分泌Ⅱ-2.各内分泌腺の働き①（視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺ホルモン）
	57	内分泌Ⅲ-2.各内分泌腺の働き②（膵臓、副腎、性腺から分泌されるホルモン）
	58	生殖・成長と老化Ⅰ-1.生殖（男性生殖器、女性生殖器、性周期、妊娠）
	59	生殖・成長と老化Ⅱ-2.成長、3.老化
	60	内分泌及び生殖のまとめと小テスト
		終講時試験

評価方法		筆記試験による評価	
評価基準	新 G P A （ 新 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
備考			